

【めざす子ども像】 「わかる」「楽しい」と主体的に学ぶ子

～すべての子どもたちが参加できる授業づくり～

今年度の具体的な取組 (昨年度のスリーニング結果からの課題)

① **聞く力**の育成のために

1. **発問・指示の3S**
(ショート・シンプル・ストレート)を意識
2. 「**聴く**」(耳・体・目・心)態度を意識
3. **聞くトレーニング**

② **語彙力**の育成のために

- 学級・学年の実態に応じた
言葉のトレーニング
⇒ ことばの貯金箱
MIM など

③ **社会性**の育成のために

1. **U-SST**の活用
2. アドジャン等の**学級遊びを通して**
コミュニケーションスキル向上

国語科 聞く・読み書き スリーニング テストの実施

ICT化 チェックリストを活用したりフレクシオン(毎学期)

土台となる**教育のユニバーサルデザイン**

授業のユニバーサルデザイン <わかりやすい授業>

A 焦点化

- ・「学習のめあて」の明示
→ 学習ボードの活用
- ・発問の工夫
- ・課題の精選
- ・効果的なワークシートの活用

しぼって
分かる

B 共有化

- ・言語活動の共有
→ 話し合い活動を通して、考えを伝え合う
- ・思考過程の共有
→ ねらいに向かう思考を共有
することでより深める

話し合っ
て
分かる

C 視覚化

- ・ICTの活用
→ モニターやタブレットの効果的な活用
- ・板書、掲示物の工夫 → 図式化、イラストの活用
- ・「見える化」 → タイムタイマーの利用
→ 聴覚的だけではなく視覚的な情報の提示



見て
分かる

教室環境のユニバーサルデザイン

<環境の構造化>

- ① 刺激量の調整(教室まわり・音の調整など)
- ② 整理整頓の工夫(置く場所の固定化・構造化)

人的環境ユニバーサルデザイン

<安心感・居心地の良いクラス>

- ① ソーシャルスキルの向上(話す、聞く、共感するなど)
- ② 雰囲気・空気感づくり(違いを認め合える、教師の笑顔など)